

# 鳥(切手)が運んだ便り

川原 啓一郎

**鳥(切手)が運んだ便り**

古曲に「雁の便り」とか、「雁の使ひ」とか、「雁の玉草」という言葉がある。いずれも同じ意味を持つが、これは『前漢の蘇武が、匈奴に捕えられた時、自分の無事を書いた手紙を雁の足に結びつけて放った。』という故事からきている。俳句でも「雁の便り」や「雁書」は秋の手紙となっている。

このような鳥が便りを届けるという見なしは世界共通のようで、大陸ごとに鳥切手での通達事例を展示してみた。

**秋風にはつかりがねぞ きこゆるる たがたまづさを かけてきつらむ**  
(古今和歌集 紀元田)

【現代語訳】  
秋風に乘って羽の鳴き声が聞こえてくる。遠い家園から誰の便りをたずねて来たのだろうか。

**鳥の文 かた田の雁よ 片便り** (和尾監筆)

【原注】  
新嘗節の鳥田より雁を用し、押とともに見事なるかた押っていたが、墨しのついでに、雁田で再び(雁)便りだった。

**オセアニア**

**クック諸島 → イギリス**

切手図案(左端) オオダクカンドリ  
(1909年発行)

1937年発行して

# 花シリーズ・魚介シリーズのFDC

石原 正

**花シリーズ**  
1961年

FIRST DAY OF ISSUE

日本の花々

**魚介シリーズ**  
1966-67年

魚介シリーズ①(いせえび)

FIRST DAY OF ISSUE: JAN 31, 1966

魚介シリーズ②(こい)

FIRST DAY OF ISSUE: FEB 22, 1966

# 平成の普通切手

永吉 秀夫

平成 封書62円期

**消費税導入(3%) 封書62円**  
 平成元年(1989年)4月1日  
 初めての消費税(3%)が導入され、封書が40円から62円、葉書が40円から41円など、ほとんどの郵便料金が消費税相当分だけ引き上げられ、対応する新額面の普通切手が発行された。デザインは従来の普通切手の延長上であり、従来の図案の小修正ですませたものも多い。消費税上乗せに伴う増徴料金の額面の切手が多種発行されたのも特徴である。

**新発行の普通切手**

自動販売機用  
コイル切手

1989. 3. 24 1989. 3. 24 1989. 4. 1 1989. 4. 1

1989. 4. 1 1989. 4. 1 1989. 6. 1 1989. 6. 1 1989. 6. 1

— 慶弔切手 —

1989. 8. 10 1989. 8. 10 1989. 8. 10 1989. 8. 10

**デザイン統一化**  
 普通切手のデザインを統一化する気運が高まり、まず基本3額面の切手が統一デザイン「日本の自然」のもとで発行された。

1992. 11. 30 1992. 11. 30 1992. 11. 30

3

平成 封書62円期

**鳥 ペーン**  
 普通式 1993. 2. 26

新発行41円、62円切手で構成したペーン。2種の額面を組み合わせた組合せペーンと、62円切手のみのペーンの2種がある。

表紙

41円 5枚+62円 5枚

62円10枚

平成 封書80円期

**製造面バラエティ**

2001年の官庁再編、2003年の独立行政法人化の時期に製造されていた本シリーズでは、多くの切手で複数のバラエティが存在する。銘版以外にも、いくつかの切手でシート構成などのバラエティが存在する。

**9円 シオカランボ** 15円 ミカドアゲハ

銘：大蔵省 銘：財務省 銘：大蔵省 銘：財務省

**10円 コアオハナムグリ**

銘：大蔵省 銘：財務省 銘：国立

コート紙 銘：国立

9

平成 封書80円期

**ファミリーペーン**

このファミリーペーンは「動物シート」と「花シート」を天地逆さま隣り合わせの配置で印刷してから裏形二連目打枠を使って穿孔されたため、両者で縦型目打の向きが逆になる。動物=上向き、花=下向きが標準である。

下向き目打の動物シート(標準と逆の向き)

目打縦目

目打枠の向き 動物=下向き、花=上向き